

全国地域情報化推進 セミナー2008in熊本



熊本城



熊本城 本丸御殿
「昭君之間」

～火の国くまもと！ ICTで夢拓く、地域情報化を見にきてはいよ。～

ご案内

日時：平成20年7月17日（木）13:00
～18日（金）12:30

会場：熊本市国際交流会館
熊本市花畑町4番8号 TEL096-359-2020

主催：全国地域情報化推進セミナー2008in熊本実行委員会

（熊本市、熊本県、総務省九州総合通信局、社団法人九州テレコム振興センター、
財団法人全国地域情報化推進協会）

後援：総務省 協賛：九州電波協力会、情報通信月間推進協議会

ご挨拶

近年のICT（情報通信技術）の進歩と社会への浸透は、今までの予想を大きく上回る速度で日々の社会経済活動や日常生活を変えつつあります。ブログやSNSなどにより、住民が簡単に世界へ向けて情報を発信したり、携帯電話で電子マネーの利用やインターネットアクセスをするなど、ユビキタスネット社会の到来を感じています。

わが国においては、2001年1月に「e-Japan戦略」を策定したことを皮切りに、いつでも、どこでも、誰でもICTの恩恵を実感でき、真にあらゆる分野における創造的かつ活力のある発展が可能となる社会の早期実現に向けて取り組んでいます。政府では、2007年4月に決定された「IT新改革戦略 政策パッケージ」の中で「効率性・生産性向上と新価値の創出」「健全で安心できる社会の実現」「創造的発展基盤の整備」を目標として国・地方の包括的な電子行政サービスの実現や健全で安心安全な社会の実現に取り組んでいます。

また、総務省においては、2010年に世界最先端のICT国家として先導することを目標とする「u-Japan政策」を推進しており、「安心・安全なユビキタスネット社会の実現」「ICT利活用の高度化」「ユビキタスネットワーク整備」等を柱として、子どもの見守りシステムの普及やテレワーク人口の増加などにより様々な社会的課題の克服に役立つユビキタスネット社会の実現を目指しています。

開催地であります熊本市は、人口67万人を擁し、清冽な地下水と豊かな緑、また、昨年築城400年を迎えた熊本城を代表とする、歴史・伝統・文化に恵まれた九州中央の拠点都市です。

現在、九州新幹線鹿児島ルートの中線開業を間近に控え、熊本駅周辺の新しいまちづくりや中心市街地の活性化、熊本城を核とした観光振興、政令指定都市の実現など、本市の将来を方向付ける重要な時期を迎え、活力と魅力あふれる新しい熊本づくりに取り組んでいるところです。

また、このような中、地域社会全体を視野に入れた総合的な情報化を図るため、ネットワークを中心とした基盤整備を進め、インターネットを通じた行政手続の電子化や、内部管理事務の効率化と付加価値の高い行政サービスの提供とともに、平成19年度からの新たな情報化計画においては、「市民・地域いきいきICT都市くまもと」を基本理念に掲げ、様々な地域情報化施策を展開しているところです。

そして、今年10月の富合町との合併を滞りなく進め、さらには熊本都市圏ビジョンを共に描く市町村の皆様と、政令指定都市実現を視野に入れた協議を進めている中で、行政区域の広域化にかかる様々な課題解決の一手法としてのICT基盤整備、及びその利活用策について大きな期待を寄せているところです。

そこで今回、全国の自治体及び企業の担当者、そして一般住民の方を対象としまして、地域情報化に関する先進的な事例や新たな情報通信技術の動向などの情報を提供し、相互交流を深めることにより、より一層の地域振興と情報化の推進に寄与することを目的として、講演会及びパネルディスカッション等からなるセミナーを開催し、全国の皆様と共に、地方が抱える諸課題をICT利活用によって解決する糸口を見いだす場をご提供できれば、との思いで企画いたしました。

本セミナーにご参加の皆様が、地域情報化の推進に向けて、更なる住民サービスの向上、業務の改善、地域の活性化を図るために、現在取り組まれている課題の解決に必要な情報や指針を得て、相互の連携を深めていただく機会となれば幸甚です。

平成20年7月

全国地域情報化推進セミナー2008 in 熊本実行委員会

全国地域情報化推進セミナー 2008 in 熊本 プログラム

～火の国くまもと！ ICTで夢拓く、地域情報化を見にきてはいよ。～

◀1日目:7月17日(木)▶		
12:30～	受付開始	
13:00～13:15	開 会	主催挨拶 財団法人全国地域情報化推進協会 理事長 清水 英雄 氏 来賓挨拶 総務省 政策統括官 戸塚 誠 氏
13:15～14:15	基調講演 【60分】	「これからの地方の時代を生き抜くには～ICT利活用による課題解決とは～」 講師 国立大学法人 熊本大学 教授 山中 守 氏
休 憩 【10分】		
14:25～14:30	歓迎挨拶	熊本市長 幸山 政史 氏
14:30～15:10	特別講演1 【40分】	「くまもと安心移動ナビ・プロジェクトの紹介」 講師 熊本県総合政策局企画課特定政策推進室 参事 増永 博和 氏
15:10～15:50	特別講演2 【40分】	「地方公共団体の業務の効率化を目指した地域情報プラットフォームの最新動向」 講師 株式会社日立製作所 公共システム事業部 主任技師 加藤 勲 氏
休 憩 【15分】		
16:05～17:35	パネルディスカッション 【100分】	「地域ICT利活用の事例紹介～各自治体からの先進事例の紹介と地方固有の課題解決のヒントを探ります～」 コーディネータ：熊本大学 教育学部 経済学研究室教授 山中 守 氏 コメンテータ：総務省 情報通信政策局 地方情報化推進室長 青山 忠幸 氏 コメンテータ：総務省 自治行政局 自治政策課 地域情報政策室 課長補佐 藤井 信英 氏 パネリスト：【地域情報プラットフォーム】北九州市 総務市民局 情報政策室情報システム再編担当係長 遠藤 勇一 氏 パネリスト：【安心・安全】島原市 企画課 課長 小川 学 氏 パネリスト：【地域活性化】天草市 企画部 情報政策課 主幹 鬼塚 清武 氏 パネリスト：【総合的地域活動】薩摩川内市 企画政策部 情報政策課 グループ長 下菌 伸一 氏
17:45～18:00	お知らせ 【15分】	「熊本紹介～城下町熊本市の見どころ」
18:15～19:45		情 報 交 流 会

◀2日目:7月18日(金)▶		
8:30～	受付開始	
先 進 事 例 ・ 技 術 の 紹 介		
9:00～9:40	講演1 【40分】	「ワイヤレス・ネットワークを活用した地域情報化への取り組み」 講師 株式会社ウィルコム 取締役 執行役員常務 ネットワーク技術本部長 平澤 弘樹 氏
9:40～10:20	講演2 【40分】	「九州電力グループによる地域情報化戦略」(仮題) 講師 九州電力株式会社 情報通信本部 電子通信部部长 山崎 正幸 氏
休 憩 【10分】		
10:30～11:10	講演3 【40分】	「次世代ネットワーク(NGN)と地域情報化の取り組み」 講師 西日本電信電話株式会社 熊本支店 法人営業部 副本部長 竹井 孝行 氏
11:10～11:50	講演4 【40分】	「ICTによるデジタルコピーのネットワーク化と利便性向上」 講師 富士ゼロックス株式会社 営業本部 官公庁支社 Government Office Serviceタスク統括マネージャー 尾崎 裕司 氏
11:50～12:00	お知らせ 【10分】	「熊本情報化フェア2008」についてのお知らせ
12:00～12:10	閉 会	閉会挨拶 総務省 九州総合通信局長 武井 俊幸 氏

【お問い合わせ先】 全国地域情報化推進セミナー 2008 in 熊本 実行委員会事務局

財団法人全国地域情報化推進協会 佐藤、漆野 Tel : 03-5251-0311 Fax : 03-5251-0317

e-mail : seminar0717@applic.or.jp

講師プロフィール及び講演概要

《1日目:7月17日(木)》	
<p>基調講演 13:20～14:20 【60分】</p>	<p>山中 守 氏 (国立大学法人 熊本大学 教授)</p> <p>昭和49年九州大学大学院修士課程修了後、アメリカ系コンピュータ企業の応用ソフトウェア開発本部に勤務。その後、九州大学大学院博士課程修了。「熊本県産業教育審議会」会長、「熊本市情報化ビジョン検討会議」会長、「日本社会情報学会」評議員などを歴任し、現在は内閣官房地域活性化推進委員、総務省地域情報化アドバイザーなど。著書は「マルチメディア社会と地域づくり」「地域情報化の進展と情報格差の要因分析」など多数。平成10年日本社会情報学会研究発表賞、平成18年度情報通信月間九州総合通信局長表彰。</p> <p>「これからの地方の時代を生き抜くには～ICT利活用による課題解決とは～」と題して、地域社会や教育・経済学の視点で、地域情報化の現状と課題、対策について解説していただきます。</p>
<p>特別講演 I 14:30～15:10 【40分】</p>	<p>増永 博和 氏 (熊本県総合政策局企画課特定政策推進室 参事)</p> <p>平成6年熊本県庁入庁。統計調査課、鹿本地域振興局農地整備課、障害保健福祉課、TOTO(株)派遣等を歴任、平成18年より現職。ユニバーサルデザインやユビキタス(くまもと安心移動ナビ・プロジェクト)施策の企画、立案に従事。総務省地域 ICT 利活用モデル構築事業等を活用した「くまもと安心移動ナビ・プロジェクト」の取組みについて紹介していただきます。</p> <p>県では、平成23年春の九州新幹線全線開業に向けて、最新のユビキタス技術を活用し、やさしく簡単に誰でも使える公共交通や各種施設等(観光地・公共施設・商店街)の案内を、携帯電話を使って行う「くまもと安心移動ナビ・プロジェクト」に取り組んでいます。当該プロジェクトの目的やシステムの概要等について報告します。</p>
<p>特別講演 II 15:10～15:50 【40分】</p>	<p>加藤 勲 氏 (株式会社日立製作所 公共システム事業部 主任技師)</p> <p>昭和60年日立製作所入社。自治体関係のシステム提案/構築/運用および自治体関連の業務パッケージの開発に参画。2001年 総務省の電子申請(汎用受付システム)に関する検討に参画。2005年 地域情報プラットフォームと地域情報化の普及に関する検討(APPLIC)に参画。現在、自治体に関する共通基盤等、ソリューション企画を担当する。</p> <p>今回は地方公共団体の業務の効率化を目指した地域情報プラットフォームの最新動向を中心とした各種取組みについて解説していただきます。</p>
<p>パネルディスカッション 16:05～17:35 【100分】</p>	<p>【コーディネータ】:山中 守 氏 (国立大学法人 熊本大学 教授)</p> <p>基調講演に引き続き「地域ICT利活用の事例紹介」として、各自治体からの先進事例の紹介と地方固有の課題解決のヒントを探ります。各自治体で取り組まれている地域ICT利活用例について、解説と評価をしていただく他、その自治体固有の魅力を、有識者の視点で引き出していただきます。</p> <p>【コメンテータ 1】:青山 忠幸 氏 (総務省 情報通信政策局 地方情報化推進室長)</p> <p>平成3年自治省入省。大分県情報化推進室長、同県財政課長、消防庁救助救急課課長補佐、総務省自治税務局市町村税課課長補佐、香川県政策部次長、同県環境森林部次長、同県環境森林部長等を歴任。平成20年4月より現職。地域情報化推進に関する政策立案者の視点で、各自治体等の取組みについて、ご意見をいただきます。</p> <p>【コメンテータ 2】:藤井 信英 氏 (総務省 自治行政局 自治政策課 地域情報政策室 課長補佐)</p> <p>平成12年郵政省入省。同省電気通信局電波環境課、総務省総合通信基盤局電波政策課、同省同局事業政策課、外務省国際協力局専門機関課を経て、平成19年8月より現職。自治行政推進における地域情報政策の政策立案者の視点で、各自治体等の取組みについて、ご意見をいただきます。</p> <p>【パネリスト 1】:遠藤 勇一氏(北九州市 総務市民局 情報政策室 情報システム再編担当係長)</p> <p>北九州市で推進中の「業務の効率化と情報システムの再編」事業は、業務及び業務システム間の連携を主眼に置き、組織体制・業務手順の見直しを含め、全体最適の視点から、行政組織及びその情報システムの“あるべき姿”を目指しています。さらに、地域情報プラットフォームの取組みを重視しており、新システムに可能な限りその仕様を組み込み、将来の自治体間、官民間の連携に対する柔軟性・拡張性を確保する方針です。その概要と特徴を紹介していただきます。</p> <p>【地域情報プラットフォーム】</p> <p>【パネリスト 2】:小川 学 氏(島原市 企画課 課長)</p> <p>昭和49年入庁。市民課・市長公室等を歴任、平成14年より現職。情報化への主な取組は、TAC支援による情報基盤協議会島原地域分科会、インターネット導入促進事業、福祉支援情報通信システムの開発及び実証実験(事業主体TAO)、市全域をカバーする無線LANシステム構築等に従事。</p> <p>平成19年度から取り組まれている「児童見守りシステム」の紹介していただきます。児童見守りシステムは、無線LANシステムを利用したもので、児童の安心・安全の確保と不審者情報の提供という二つのシステムで構成されています。一つは、校門等に設置したICタグリーダーとWebカメラで小学生の登下校状況を文字と画像で確認し、同時に保護者へ送信するというものです。もう一つは、市のホームページにコミュニケーション機能を搭載したウェブサイトを構築し、不審者などの情報の提供とそれを公開するものです。【安心・安全】</p> <p>【パネリスト 3】:鬼塚 清武 氏(天草市 企画部 情報政策課 主幹)</p> <p>昭和54年日本渡市に入庁。環境課等を歴任、情報関連部署は、平成12年より現職。</p> <p>庁内イントラネットの構築から情報化の取組みを開始され、現在各公共施設を接続する広域ネットワークの整備やインターネットを活用した「Webの駅 天草情報タワー」の構築など地域活性化の取組みについて紹介していただきます。【地域活性化】</p> <p>【パネリスト 4】:下藪 伸一 氏(薩摩川内市 企画政策部 情報政策課 地域情報グループ長)</p> <p>平成16年10月の市町村合併時に整備した地域公共ネットワークの本庁と甕島各支所間は、電気通信事業者のマイクロ波多重無線回線(メガデータネット)による2～6Mbpsの伝送速度であり、本土における本庁と支所間、及び支所と支所間は3Gbps、本庁及び支所と公共施設間は100Mbpsの伝送速度と比較すると、本土地域と甕島地域の情報格差は歴然としており、その格差は正が大きな課題でした。</p> <p>更に、本庁・各支所・公共施設間の公共ネットワークによる行政情報ネットワーク運用に制約があることや、甕島地域のブロードバンド化が遅々として進まないことなど、条件不利地域における地域住民の利便性の向上が困難であることが顕在化していました。このように合併により生じている本土地域と甕島地域の情報格差を解消し、全市均一な市民サービスの充実と行政サービス業務の高度化及び市民の利便性の向上を実現することを目的に、本土と甕島間に海底光ケーブルを敷設し、情報通信回線の高速化(増速)した平成 18 年度薩摩川内市本庁～甕島間ネットワーク増速整備事業の概要と特徴を紹介していただきます。【総合的地域活動】</p>

講師プロフィール及び講演概要

≪2日目:7月18日(金)≫	
講演1 9:00～9:40 【40分】	平澤 弘樹 氏 (株式会社ウィルコム 取締役 執行役員常務 ネットワーク技術本部長) 1981年早稲田大学大学院理工学研究科修了 同年郵政省入省 電波監理局を歴任し、1988年 第二電電(株)入社。2004年DDIポケット(株)、2005年(株)ウィルコムと社名が変更され、2008年より現職。 今回は「ワイヤレス・ネットワークを活用した地域情報化への取り組み」と題し、同社の取り組みについて、また、これからの展望について、移動体通信業界の動向を含めて解説していただきます。
講演2 9:40～10:20 【40分】	山崎 正幸 氏 (九州電力株式会社 情報通信本部 電子通信部 部長) 昭和49年九州大学通信工学科卒業、同年九州電力株式会社入社、平成18年より現職。次世代高度ネットワーク九州地区推進協議会推進部副会長、国際大電力システム会議情報通信分科兼日本国内分科会委員長、社団法人ハイパーネットワーク社会研究所評議員、国立大学法人九州工業大学客員教授、社団法人九州テレコム振興センター理事、社団法人九州経済連合会情報通信委員会企画部会長などを歴任。 「九州電力グループによる地域情報化戦略」と題し、同グループ情報通信施策の企画立案者の視点で、これまでの経過、現状、とこれからの展望について、通信事業者全体の動向を含めて解説していただきます。
講演3 10:30～11:10 【40分】	竹井 孝行 氏 (西日本電信電話株式会社 熊本支店 法人営業部 副本部長) 昭和55年日本電信電話公社入社、NTTコミュニケーションズ、NTT西日本宮崎支店法人営業部、NTTネオメイト設備ビジネス本部を経て平成19年より現職。主に電気通信設備の開発・構築等に従事。 今回は「次世代ネットワーク(NGN)と地域情報化の取り組み」と題し、通信事業者として、次世代ネットワーク(NGN)のこれまでの取り組みと、これからの展望について説明いただくと共に、グループで取り組んだ地域情報化の先進事例を紹介していただきます。
講演4 11:10～11:50 【40分】	尾崎 裕司 氏 (富士ゼロックス株式会社 営業本部 官公庁支社 Government Office Serviceタスク統括マネージャー) 平成元年入社。主にドキュメントを核とした各種企画、処理分析、市場リサーチ、システムコンサルティングに従事。行政機関が抱える共通の課題として、膨大な行政文書管理業務の効率性向上があります。今回は「ICTによるデジタルコピーのネットワーク化と利便性向上」と題し、内部統制、BCPの視点を取り入れながら、電子ファイル管理技術の最新動向及び行政事務の効率化、省力化の手法と今後の記録管理の方向性について、記録媒体の変遷と潮流も含め、専門的な視点で解説をいただきます。